

J PFP 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.33 April 2015

● 人口と開発に関する G7/20 国会議員会議 4月16~17日 ドイツ・ベルリン

「人口と開発に関する G7 (G8) 国会議員会議」は、2005 年以来、ヨーロッパ人口・開発議員フォーラム (EPF) を中心として、先進国首脳会議 (サミット) に合わせ、人口問題への対処の重要性をサミットに反映させる目的で開催されてきました。

今年、人口と開発に関するドイツ超党派議員連盟、その事務局であるドイツ世界人口財団 (DSW) 並びに EPF の共催でドイツ・ベルリンで開催され、約 50 か国から 90 名に上る世界各国の国会議員が参集しました。日本からは前田武志参議院議員が参加し、セッションで世界最初の人口と開発に関する超党派議連である JPPF の取り組みについて発表を行うとともに、閉会式で挨拶を行いました。(下記に閉会挨拶全文を掲載)。



2 日間にわたる会議では、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR)、女性のエンパワーメント、ジェンダーの平等、ジェンダーに基づく暴力 (GBV)、児童婚、妊産婦と乳幼児の健康といった課題と、その対処における国会議員の役割について、幅広い分野の専門家による

講演および活発な議論が行われました。



SRHR、女性のエンパワメントおよびジェンダー平等の達成は、経済的な恩恵があるだけでなく、持続可能な開発において必要条件であることから、こうした課題への取り組みの強化を G7/20 各国に求めた「宣言文」が採択され、Frank Heinrich ドイツ議連会長より、G7 シェルパである Lars-Hendrik Röller 首相経済財政顧問に直接手渡されました。

(原文: http://she-matters.org/wp-content/uploads/2015/04/FINAL_APPEAL_she_matters.pdf)

来年 2016 年にはサミットが日本で開催されることから、ホスト国として国際的に日本の取り組みおよび貢献を発信する好機となります。JPFP が中心となり、2016 年サミットに先駆けて「人口と開発に関する G7 国会議員会議」を日本で開催し、人口と持続可能な開発分野における日本のリーダーシップを国内外にアピールし、外交戦略の柱の一つである「人間の安全保障」を達成するために、感染症対策等のグローバルヘルス、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)、高齢化を含む人口問題への対応等を広く発信することが企画されています。

前田武志議員 閉会挨拶

会議のご成功を心よりお慶び申し上げます。DSW はじめ EPF、さらにその事務局のご努力に心より感謝申し上げます。

本年は国際的な開発アジェンダにとって、そして地球規模的な課題に対処する上で、歴史に刻まれる年となると思います。今年の 9 月に採択される新しい開発アジェンダは、1992 年の地球サミット・リオ宣言、1994 年の国際人口開発会議行動計画及び 2000 年の MDGs をはじめとする、これまで議論されてきた地球的課題を初めて包括するものとなると考えられています。さらに年末には、COP21 も開催されます。

その中でも人口問題は基盤であり、人口問題の解決なくして、途上国の課題も、先進国の課題も、環境問題も解決に向けることはできません。国際社会は相互依存を深め、地球は一つ、私たちは運命共同体

に共生していることを思い知らせています。人口と持続可能な開発の問題に携わる私たち国会議員は、国際的な連携を強め、この問題に取り組み、一人ひとりの福利向上と共に、人類全体の未来が希望あるものとなるよう努力しています。

来年は、新しい開発アジェンダの採択を踏まえて、人間が尊厳を持って生きることのできる社会を構築するために、私たち国会議員が何をすべきかを協議する、非常に重要な意味のある年となると思います。

JFPF として、来年 G7 人口と開発に関する国会議員会議の開催に向け、関係者に支援と協力を働きかけていきたいと思っております。来年東京でお目にかかれまことを心より期待しております。



国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局

(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>